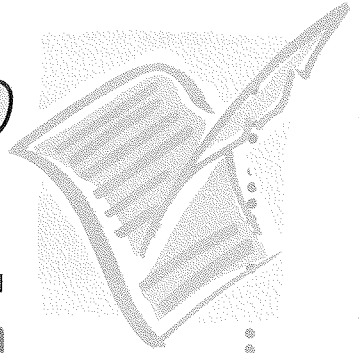


# 旭川歯科医師会便り

Vol.42

事務局／旭川市金星町1丁目1-52 道北口腔保健センター内  
☎(0166)22-2361

<http://www.ahmic21.ne.jp/kyokushi>



## ●●●国民のむし歯予防に水道水のフッ化物を●●●

「第30回むし歯予防全国大会」東京で開催

去る10月28日に東京で行われた「第30回むし歯予防全国大会」で、日本歯科医師会池主常務理事、開業医、行政、大学から4名の発表がありましたので、要旨をお伝えします。

かつて、「むし歯を減らす公衆衛生活動は、歯科医師にとって不利益にならないような範囲でほどほどにするべき」という考えが一部の開業医の中にありました。さらに「治療が第一」に



健康な歯は賢い社会からの贈り物

慣らされた国民からは、むしろ「むし歯」を予防することが「開業医の首を絞める」ことにならないかと時には言葉に出して揶揄されてきました。

### ●むし歯予防は、歯科医師として「誇り」と「使命感」

歯科医師をむし歯予防に駆り立てるのは、国民の健康を守るべき歯科医師という職業への「誇り」と「使命感」ではなからうか。しかし現実には、むし歯は都道府県格差、市町村格差が大きく、国民の「健康である権利」は守られる対策が必要であります。

歯科医師にとって、「ベストの治療」とは「より成功率の高い治療法」を提供することであり、同様に「ベストの予防法」とは「より多くの病気を予防する予防法」であります。

### ●WHO（世界保健機関）は推奨し、加盟国に実施勧告

はたして人類にとって「ベストのむし歯予防法」は何か。老若男女、健康者にも障害者にも生涯有効な水道水のフッ化物（水道水のフッ化物濃度を1万分の1%に調整して給水すること）をWHO（世界保健機関）は推奨し、加盟国に実施勧告しています。

生涯に渡るむし歯予防は、生涯に渡ってフッ化物を国民に供給する手段としての「水道水のフッ化物」のベースなしに不可能であることは米国の例から明白であります。

フッ化物によるむし歯予防が、国民にとっては健康の獲得、それによる歯科医師への信頼の確立と需要の創造につながり双方に必要な手段であることを米国ハーバード大学のダグラス教授が1990年に予測しています。

すでに61年間の実績があるフッ化物は、経済的で、科学的に安全性と効果が確立しており、国が「実施のガイドライン」を自治体に示すことが必要な段階にあります。